

胃や大腸の多発癌については、すでに「胃と腸」の主題で胃は2回、大腸は1回取り挙げられているが、食道の多発癌の特集は今回が初めてである。どの論文も、現在日本の第一人者と称される研究者が執筆しており読み応えがある。食道癌の発生頻度は胃や大腸と比べると、およそ1/10である。食道の多発癌の発生頻度はその発生する面積が狭いにもかかわらず、胃や大腸の多発癌と比較して同じか、それ以上に高そうである。なぜであろうか。今回は小澤論文が分子生物学的検討を加えている。

ヨード染色の普及とともに、EMRで治療可能

な早期食道癌の発見数が増加してきた。しかしEMRの治療の時代に入ってからまだ日も浅く、したがってEMR後の異時性食道癌は当然増加することが予想される。幕内論文に述べられているように、癌は多発が原則、重複癌も同様と考えるべきで、1つの癌が発見されたら厳重な経過観察が必要である。

胃の多発癌の頻度は、「胃と腸」の2回目の主題では1回目のおよそ2倍となっている。次回の「胃と腸」での多発食道癌の主題を取り上げるときには、今回とどのように変わっているのだろうか。

胃と腸

8月号（第36巻・第9号）予告

発売予定 8月25日
定 価 （本体2,300円＋税）

主題／GIST(gastrointestinal stromal tumor)―概念と臨床的取り扱い

序 説	GIST(gastrointestinal stromal tumor)―概念と臨床的取り扱い……………	山王分院・内科	川 口	実
主 題	消化管間葉系腫瘍の概念の変遷と GIST の定義・臓器特異性……………	福岡大筑紫病院・病理	岩下	明德・他
	分子生物学の立場からみた GIST の特性と臨床への応用……………	大阪大・病理	廣田	誠一・他
	GIST の臨床的対応―粘膜下腫瘍における GIST の頻度と臨床的取り扱い……………	山王分院・内科	川口	実・他
	GIST の臨床的取り扱い……………	市立豊中病院・外科	高見	元敏・他
	超音波、超音波穿刺細胞診による GIST の鑑別診断……………	東京女医大・消内	村田	洋子・他
	胃間葉系腫瘍の画像診断―とくに GIST の特徴像について……………	東海大・放射線	今井	裕・他
	GIST(gastrointestinal stromal tumor)―概念と臨床的取り扱い……………	慶応大・外科	大谷	吉秀・他
主題症例	リンパ節転移を認めた GIST の1例……………	福岡大筑紫病院・病理	大重	要・他
	胃 GIST のリンパ節転移例……………	癌研・外科	大山	繁和・他

胃 と 腸 （第36巻 第8号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2001年7月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円＋税)(配送料116円)

2001年年きめ予約購読料33,810円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2001, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)阿野・渡辺・永安・小松原